

国際交流

三重大学は、国際交流・国際協力の拡大と活性化を図るとともに国際的な課題の解決に貢献できる人材を養成し、大学の国際化を目指します。

国際交流センター

三重大学国際交流センターは、国際研究部門、国際教育部門、国際サービス部門という3つの部門から成り、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。

外国人のための日本語教育、英語による国際教育、夏季休暇中に海外の協定大学から招いた学生を対象としてサマースクールなどを行っています。



3大学ジョイントセミナー

3大学(三重大学、中国・江蘇大学、タイ・チェンマイ大学)を核として複数の大学が参加。人口、食料、エネルギー、環境をテーマとし、これらの問題を共有しつつ学生の研究発表の場として、1994年から毎年会場を変えて開催しています。(2006年は、三重大学で開催予定)

APAN国際会議への参加

APAN(アジア太平洋高度研究情報ネットワーク、Asia Pacific Advanced Network)とは、次世代のネットワークやアプリケーションの研究開発のための、アジア太平洋地域を繋ぐ高性能ネットワークであり、三重大学は、本国際会議のワーキンググループ"e-culture"を運営しています。

SOI ASIAの教育プログラム

インターネット基盤を使って、アジア諸国の高等教育に貢献することを目標としており、アジア11ヶ国20ヶ所の大学や研究機関に授業の配信を行っています。三重大学は、オフィシャル校として、包括的災害科学コンテンツの配信を通してアジアの大学との双方向の学術的な交流を広げています。

遠隔授業を通じたノースカロライナ大学との大学間交流

テレビ会議システム(ポリコム)を使い、三重大学とアメリカ・ノースカロライナ大学間で遠隔授業を行っています。

語学研修

三重大学との一般協定に基づき、英語(オーストラリア・タスマニア大学)ドイツ語(ドイツ・エアランゲン大学)中国語(中国・天津師範大学)の語学研修を行っており、ホームステイの利用等、実際の生活の中で言葉や文化を学ぶことができます。

チェンマイ大学を拠点とするJICAプロジェクト

タイ政府が重要視する過剰な農薬使用による残留農薬の問題を、チェンマイ大学を拠点として三重大学と香川大学がサポートする形でスタートしたJICAプロジェクト「北部タイ省農薬適正技術計画」に多くの教員が携わっています。

みえメディカルバレープロジェクトと国際連携交流

メディカルバレー構想は、医療・健康・福祉分野の産業振興を目的として事業を展開するもので、企業・大学・県・市等が共同してベルリン、スウェーデン・デンマーク等を訪問、協定締結・視察などを行っています。ピオコンバレー(旧東ドイツ:ロストック大学)メディコンバレー(スウェーデン・デンマーク:ルンド大学)みえメディカルバレー(三重県:三重大学)事業の「学」の要として、事業の推進に貢献しています。2005年11月には、三重大学で第1回日独再生医学会議が開催されており、2006年にはドイツで開催予定です。